

udo roesner amps

*Da Capo*₇₅

日本語取扱説明書

はじめに

この度は udo roesner amps 製品をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。

この Da Capo 75 は 2 チャンネルのアコースティック楽器用のコンボアンプで、コンパクトな筐体ながら 75W の出力を誇り、6 種類のエフェクトも搭載しています。ギターなどのアコースティック楽器、シンガー/ソングライター、またデュオ演奏など、Da Capo 75 はきっと威力を発揮してくれるでしょう。

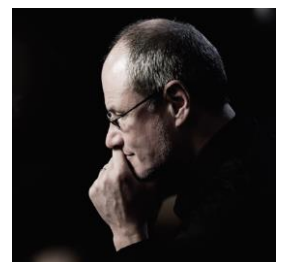
入念な設計、パーツ選び、もちろん仕様に至るまであらゆる段階でプロフェッショナルを貫き製品化されています。

アンプ、特にアコースティック楽器用の進歩は非常に速く、私自身この 30 年間で進歩に多大な貢献をしてきたことを嬉しく思っています。私は常に世界中のミュージシャンが音を本当に大切にしていると信じてきましたし、機材を提供する側である私たちは皆、常によりよい製品をつくるために終わりのない努力を続けています。

今回 udo roesner amps ブランドの第一弾製品としてリリースしました Da Capo 75 は、私の最新の「貢献」といえます。この時代にアナログ技術の粋を集め、小さな巨人ともいえるパワフルでクリスピー、クリアなサウンドを実現しながらとても暖かく、まろやかで美しく調和がとれたサウンドを実現しました。

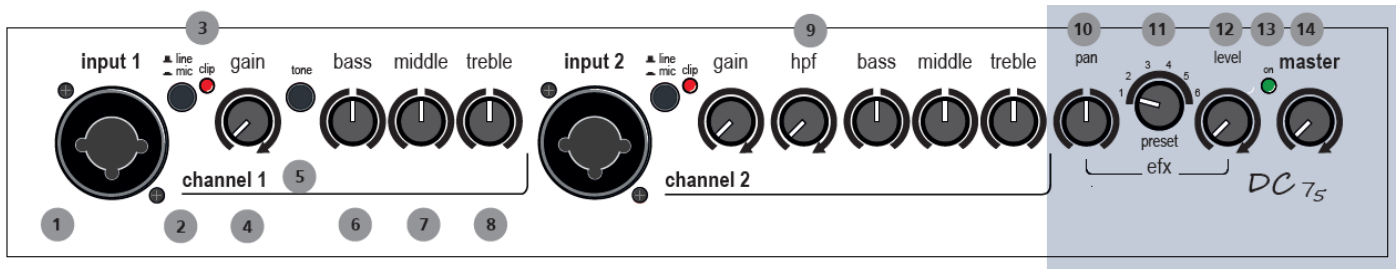
ぜひこの新しい機材で試行錯誤し、あなた自身のサウンドを実現してください。

2019 年 12 月 ウド・ロースナー



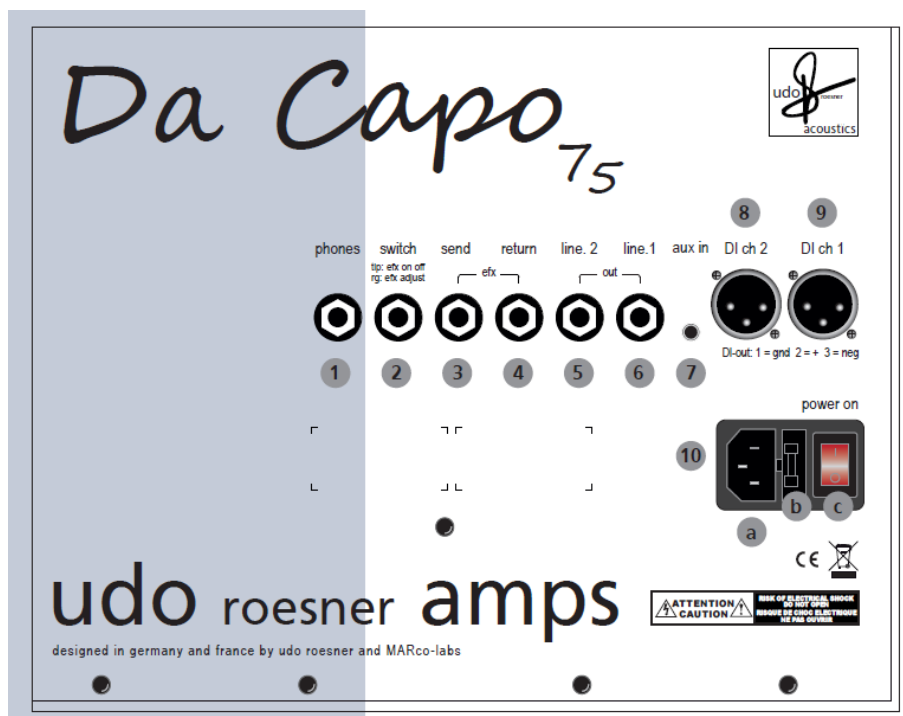
各部の名称とはたらき

トップパネル



- 1) input: 入力端子、XLR & 1/4 インチ TRS フォーンコンボジャック
- 2) line/mic: 入力ソース切替スイッチ、押されてない状態が line(フォーンプラグ専用)で楽器やラインレベルのソースの接続時、押した状態が mic (XLR コネクター専用) でマイク接続時
- 3) clip: 過大入力の際点灯 (+6 dBV ヘッドルーム)
- 4) gain: 入力レベルの調整 (40 dBV のレンジ)
- 5) tone: フィルタープリセット、押した状態でオン
- 6) bass: 低音域の調整、8 dB @100 Hz
- 7) middle: 中音域の調整、6 dB @800 Hz
- 8) treble: 高音域の調整、8 dB @10kHz
- 9) hpf: ハイパスフィルターの調整、40 Hz~350 Hz
- 10) pan: エフェクト量のチャンネル間のバランス調整
- 11) preset: エフェクトプリセットの選択 (1. ショートリバーブ、2. ロングリバーブ、3. コーラス、4. カスタムディレイ、5. マイディレイ、6. タップディレイ)
- 12) level: エフェクト量の調整
- 13) on: 本体電源がオンのときに点灯
- 14) master: 全体のマスターボリュームの調整

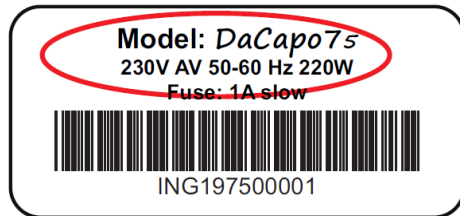
リアパネル



- 1) phones: ステレオヘッドフォン出力端子 (1/4 インチ)
- 2) switch: フットスイッチ端子 (1/4 インチ TRS)
- 3) efx send: 外部エフェクトへの SEND 信号出力端子
- 4) efx return: 外部エフェクトへの リターン 信号入力端子
- 5) line 2: ラインアウト端子 (+4 dBV = ミキシングコンソールなどへ接続)
- 6) line 1: ラインアウト端子 (-10 dBV = オーディオインターフェイスなどへ接続)
- 7) aux in: 外部機器入力 (1/8 インチ TRS)
- 8) DI ch 2: チャンネル 2 のダイレクトバランスアウト
- 9) DI ch 1: チャンネル 1 のダイレクトバランスアウト
- 10) 電源接続部
 - a) 電源ソケット: 付属の AC ケーブルを接続
 - b) メイン: フューズソケット
 - c) Power on: 電源スイッチ、オンで点灯

接続について

電源投入の前に必ず製品の電圧仕様を確認してください。電源ソケットの近くにあるシリアル番号が書かれたラベルに、電源電圧が記されています。



なお、株式会社フックアップが輸入する Da Capo 75 は日本国内向けに、すべて 100V 仕様になっています。

また楽器や機材との接続は、正しいオーディオケーブルをお使いください。信頼性が高く、老朽化していないケーブルを使うことで、思わぬトラブルを避けることができます。

またコネクタによっても正しいプラグで接続することが重要です。

- ・モノラル (TS = Tip、Sleeve)、1/4 インチジャック：楽器からの接続やラインレベル機器との接続に使います。
- ・ステレオ (TRS = Tip、Ring、Sleeve)、1/4 インチジャック：フットスイッチやヘッドフォンアウトがこのタイプです。
- ・XLR (1 = Ground、2 = Hot、3 = Cold)、マイクの接続や DI アウトの接続に使います。

電源投入の前にそれぞれの楽器や機器が正しく接続されているかを確認してください。また gain や master ノブが最小になっている状態で電源を投入してください。

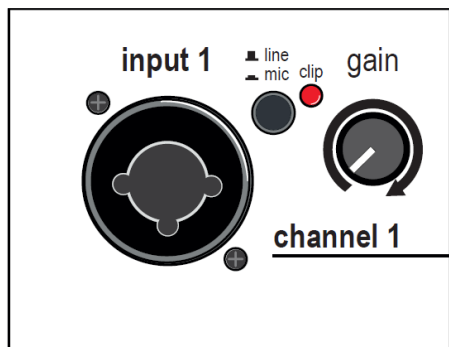
ゲインの調整について

Da Capo 75 は単純な増幅器にスピーカーが付いているわけではありません。

内部の各ステージ於いて最大限に効果が発揮できるように細心の設計がなされています。素晴らしいサウンドを得るためにゲインの設定は非常に重要です。

正しくレベルを設定するという事は、簡単にいうと信号が大き過ぎず、小さ過ぎないということです。内部の各ステージ於いてオーバーロードもなく、歪みも発生させないということです。設計には細心の注意が払われているものの、ソースの違いやゲインの設定、EQ の設定によってよい効果を得られなくなる場合があります。

まずはマスターボリュームを最小にすることで、入力レベル設定時にも不要なノイズをスピーカーから出さずに済みます。



入力ソース（マイク、ピックアップ、その他のラインレベルの機器）によって line/mic スイッチを設定してください。それから gain ノブを時計回りに上げながらソースを入力し、強く弾いたとき（大きく歌ったとき）に clip LED がときどき点く程度にします。

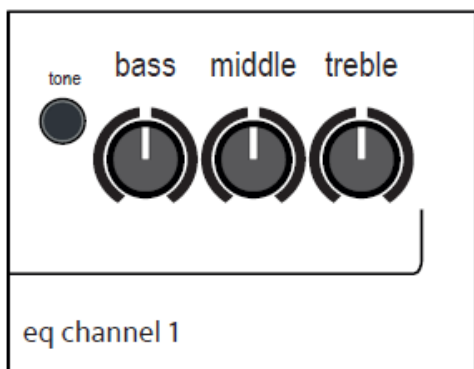
たまに赤く点灯する程度でしたら危険ではないものの、お勧めはできません。その場合は gain を下げることで適切なヘッドルームと SN 比を確保できます。

通常は gain ノブも master ノブも 9 時の位置がベストです。ただし gain の設定は音量だけでなく音質にも影響を与えるので、ソースによって試行錯誤してみてください。

各部のはたらき

1. トーンコントロール、トーンスイッチ、ハイパスフィルター

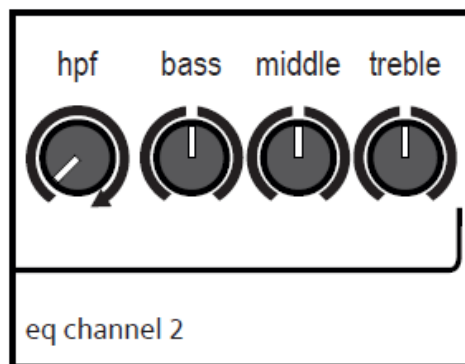
Da Capo 75 の各チャンネルには、アクティブ回路による高品質な3バンドのトーンコントロール (EQ) が搭載されています。bass と treble はシェルビングタイプのフィルター仕様で、楽器や声のトーンを簡単に調整ができるような実用的な設計になっています。このアンプのキャラクターとして十分な中音域の響きが実現していますが、middle フィルターを調整することでサウンドキャラクターを調整できるはずです。



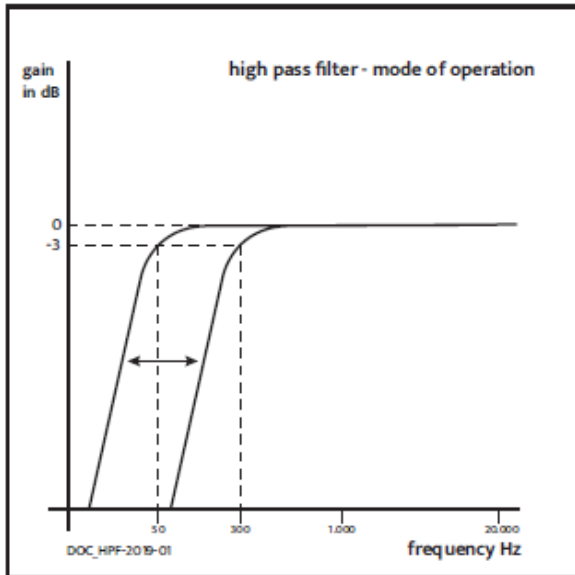
Channel 1 には tone スイッチが搭載されています。このスイッチをオンにすることで、中音域を少し抑え高音域をさらに強調する結果、サウンドの明るさが向上します。

抜けが悪い楽器やプレイスタイルによっては、このスイッチを使うとよいでしょう。3バンドEQとの組み合わせで、中音域の印象を調整できます。

また Channel 2 には hpf (ハイパスフィルター = ローカットフィルター) が搭載されています。



このノブで設定された周波数ポイントより低い成分をカットします。周波数ポイントは、50 Hz ~ 350 Hz の間で調整できます。



マイクの近接効果によって低音成分が多くなってしまうときに、簡単に効果が得られます。

2. エフェクト

Da Capo 75 には 6 種類のデジタルエフェクトプリセットが搭載されています。preset スイッチで選択できます。

1 = reverb short

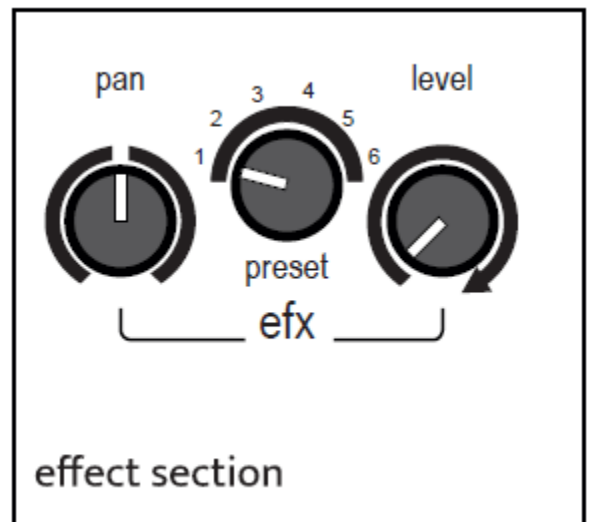
2 = reverb long

3 = chorus

4 = custom delay

5 = my delay

6 = tap n' delay



efx-pan ノブが channel 1 と channel 2 のエフェクト成分のバランスを調整します。ノブがセンター位置の場合は、エフェクト成分が均等に各チャンネルに送られます。左に回し切るとチャンネル 1 のみ、右に回し切るとチャンネル 2 のみにエフェクト効果が現れます。

なおエフェクトに関しては2つのパターンがあります。

- a) 上記の内蔵エフェクトのエフェクト成分 (= 内部エフェクトセンド)、この場合は `efx-level` ノブで全体のエフェクト成分を決めて、`efx-pan` ノブでチャンネル間のバランスをとります。
- b) リアパネルの `efx send/return` に接続された外部エフェクト成分、`efx-level` ノブの設定は外部エフェクトへ効果はありません。同様に `efx-pan` ノブでチャンネル間のバランスをとります。

3. フットスイッチ

ラッチタイプのダブルフットスイッチを使用します。プラグが TRS になっているものです。スイッチ 1 (Tip) で内蔵エフェクトのオン/オフ、スイッチ 2 (Ring) で tap n' delay エフェクトのデレイタイムを 0 ~ 1000 msec の範囲で設定できます。

*工場出荷時の設定。内部ジャンパーの設定で、スイッチ 2 を外部エフェクトのオン/オフに変更可能。

4. ファンタムパワー

マイク入力にコンデンサーマイクを使用する場合は、48 V ファンタムパワーが必要です。工場出荷時には両方のチャンネルにファンタムパワーが供給されています (XLR 端子のみ)。

なおダイナミックマイクの使用はこのままでも問題ありません。もし別のマイクプリアンプを使う場合ではファンタムパワーは不要です。

* 内部ジャンパーの設定で、各チャンネルのファンタムパワーをオフにすることができます。

5. ヘッドフォン

ステレオタイプのヘッドフォンが使用できます。ヘッドフォンを接続するとスピーカーからの出力はミュートされます。

6. エフェクトループ

リアパネルにある efx send/return に外部エフェクト機器を接続できます。このエフェクトループはモノラル接続のみとなり、外部エフェクト成分は元々の信号と並行に接続されます。efx-pan ノブは内部エフェクトと外部エフェクトの両方に同様に効きます。

7. ラインアウト

出力レベルの違いで2つのラインアウトが装備されています。line out 2 はPAなどで使われる「プロラインレベル」と呼ばれる高い信号レベルのもので、ミキシングコンソールなどに接続します。line out 1 は低い信号レベルのもので、オーディオインターフェイスなどに接続するのに向いています。過大入力レベルによる歪みを避けることができます。

出力される信号は、プリエフェクト・ポスト EQ/マスターです。

8. AUX インプット

ミニステレオによる TRS 入力で、オーディオプレイヤーやスマートフォンなどのデバイスを接続します。直接 Da Capo 75 のパワーアンプ部に送られるので、音量調整は接続したデバイス側で行います。

9. DI アウト

電子バランスによる DI アウトをチャンネルごとに装備しています。各チャンネルからの信号を外部ノイズなどの影響を最小限に送出できます。出力される信号は、プリマスター・ポスト EQ/エフェクトです。

【注意】

ジャンパーの設定はお客様自身で行わないでください。必ずご購入店を通じて弊社のサービスへご依頼ください。

お客様自身で行った場合、保証の対象がとなることがあります。

技術仕様

【入力】

・ input 1/input 2 共通: XLR & 1/4 インチ TRS フォーンコンボジャック

line モード: 楽器用ハイインピーダンスジャック (ピックアップから直接接続)、アンバランス、
ラインレベル

インピーダンス: 2.2M Ω

感度: 22mV (-33dBV) *内部ジャンパーでアッテネーションの設定が可能

等価ノイズレベル: 1 μ V (-120dBV) A-Weighted

mic モード: XLR バランス/フォーンジャック アンバランス

インピーダンス (XLR バランス): 1.2k Ω

インピーダンス (フォーンジャック アンバランス): 2.7k Ω

感度: 3.3mV (-50dBV)

ボイスフィルター: -10dB @270Hz

等価ノイズレベル: 0.8 μ V (-122dBV) A-Weighted

ファンタム電源 (XLR のみ): 48V 最大 10mA (ショート保護回路搭載)

・ return: 1/4 インチフォーンジャック、アンバランス、プリマスター

感度: 320mV (-10dBV)

インピーダンス: 19.7k Ω

・ aux in: 1/8 インチ TRS ステレオフォーンジャック

【出力】

・ phones: 1/4 インチ TRS ステレオフィオンジャック

インピーダンス: 470Ω

*モノジャックはお使いいただけません。

*ヘッドフォン接続時にはスピーカーからの出力はミュートされます。

・ send: 1/4 インチフオンジャック、アンバランス、プリマスター

出力電圧: 1.4V (+3dBV)

・ line out 1/ line out 2: 1/4 インチフオンジャック、アンバランス、プリアンプアウト

出力電圧 1: 1.74V (+3dBV)

出力電圧 2: 0.33V (-4.6dBV)

・ DI-out 1/DI- line out 2: 1XLR バランス、プリマスター、ポスト EQ/エフェクト

出力電圧: 140mV (-17dBV)

(1=グランド/2=ホット/3=コールド)

【フットスイッチ】

・ footswitch: 1/4 インチ TRS ステレオフィオンジャック

*ラッチタイプのデュアルフットスイッチを接続

(Tip=内蔵エフェクトのオン・オフ/Ring=パラメーター設定 tap n' delay/sleeve=グランド)

【EQ】

・ channel 1

tone: -3dB @700Hz、 +7dB @8kHz

bass: 8dB @100Hz (シェルフタイプ)

middle: 6dB @800Hz

treble: 8dB @10kHz (シェルフタイプ)

・ channel 2

hpf filter: 40Hz ~ 350Hz

bass: 8dB @100Hz (シェルフタイプ)

middle: 6dB @800Hz

treble: 8dB @10kHz (シェルフタイプ)

【エフェクト】

・ effect presets: 1-reverb short、 2-reverb long、 3-chorus、 4-custom delay、 5-my delay、 6-tap n'

delay

・ external effect: パラレルエフェクトループ

・ efx pan: 内部エフェクト/内部エフェクトのエフェクト量設定)

【その他】

- ・ パワーアンプ出力: 75W/4Ω
- ・ スピーカーシステム: 8 インチ (200mm)、ツインコーンフルレンジ
- ・ キャビネット: 12mm プライウッド
- ・ 本体仕上げ: ブラックポリエステルによるスパッターフィニッシュ

- ・ 消費電力: 最大 200W
- ・ 電源: 100VAC (50/60Hz)
- ・ 寸法: 265mm(H) × 325mm(W) × 245mm(D)
- ・ 本体重量: 7.5kg
- ・ 付属品: ショルダーバッグ

※仕様及び価格は予告なく変更される場合があります。

MARco-labs/udo roesner amps 日本総代理店

株式会社フックアップ

〒110-0005 東京都台東区上野 1-2-2 信井ビル別館 3F

Tel: 03-6240-1213

Fax: 03-3837-3123

URL: <http://www.hookup.co.jp>